



## TROUBLESHOOTING

問題	推測される原因	解決方法
Anubisが起動しない	DC電源が正しく接続されていない	DC電源が正しく接続されていることを確かめてください。Mergingの電源を使用している場合は、プラグについているタブを合わせて差し込み、時計回りに回してください。
	DC電源が不適合	Anubisの入力電圧は9Vから15Vです。
	PoE電源が不適合	AnubisにはPoE+(802.3at)に適合しています。PoEがPoE+に設定されていることを確かめてください。
接続されたストリームが聞こえない	Monitorが選択されていない	Monitor Setを選択していること、そしてこれが正しくパッチされていることを確認してください。User Manual Monitorセクションに従うか、Basic Monitoringユースケース設定に従ってください。
	SourceがMonitor Engineにつながっていない	Anubisモニタリングエンジンを迂回する傾向があります。ユーザーマニュアルの“Sources vs. Monitors Fundamentals (ソースとモニターの基本)”の章を確認してください。設計上、DAW 1-2 Payoutなどの出力がAnubisモニタリングエンジンに入ってからモニターセットに送られるように、最初にSourceを作成または使用する必要があります。
ヘッドフォンセットにDimまたはRefが適用できない	MonitorのTypeが違います	3タイプのMonitor Setにはそれぞれ独自の機能があるため、これは予想されることです。Monitor Tableを参照してください。Dimを使用するには、ヘッドフォンのReferenceレベルとその他の機能をCueに変更する必要があります。
ASIO, VADの音が途切れる または ノイズが出る	ドライバーの設定が違っている	ASIOドライバーのI/O Bufferを調整してください。Bufferのサイズによって、オーディオソフトウェアを介してライブ入力をモニタするときどの程度の遅延が聞こえるかが決まります。Bufferが大きいほど、遅延が大きくなります。より小さなBufferはより少ない遅延となります。Buffer調整の変更はASIOとVADパネルで行われます。
	ドライバーの設定が違っている	ASIOまたはVADパネルのI/O数を減らし、必要なものだけにしてください。
	ネットワークの設定が違っている	スイッチには正しく設定され推奨されているRAVENNA / AES67スイッチを使用してください。RAVENNA / AES67認定スイッチについては、以下を参照してください。 <a href="https://confluence.merging.com/display/PUBLICDOC/Network+Switches+for+RAVENNA+-+AES67">https://confluence.merging.com/display/PUBLICDOC/Network+Switches+for+RAVENNA+-+AES67</a>
Ravenna EasyConnectでAnubisに接続できない	互換性 - レガシー	Ravenna Easy ConnectはAnubisと互換性がありません。ANEMANを使用してください。
Merging Ravenna ASIO Panelにエラーメッセージ "ASIO Clock Error : latency of the	ドライバーのコンパチビリティ	Merging RAVENNA ASIO driverはV12以降のものを使用してください。
	ドライバーとデバイスレイテンシーの設定	ASIOドライバとAnubisデバイス間のレイテンシーは同じ設定にしなければなりません; AES67 (48 - 12 - 6) ま



master Horus/Hapi and ASIO driver must be set accordingly"が表示される		たは64 (64 - 32 - 16)。 Anubis Settings> General> Frame Mode : Latency settingを参照してください。ネットワーク上に複数のデバイスがある場合、この設定はマスターPTPデバイスでのみ設定できます。																		
Reaperを使うとオーディオが途切れる	Reaperの設定	Reaperのデフォルトの動作は、アプリケーションが非アクティブのときにオーディオデバイスをオフにすることです。ReaperのOptions > Preferences > Audio"で"Close audio device when stopped and application is inactive"のチェックを外してください。																		
AnubisがDAWまたはシステムのサンプリング周波数に自動的に切り替わらない	Auto Sampling Rate	Anubis> Settings> GeneralでAuto(Sampling Rate)オプションを有効にしてください。少なくとも1つのRAVENNA ASIOまたはVirtual Audio DeviceストリームがAnubisの出力に接続されている場合は、Autoに設定してください。																		
	ANEMAN Sampling Rate Zone	ANEMANを起動し、World Viewで新しいSampling Rate Zoneを作成し、クラウンのあるZoneにRAVENNA ASIO, VADドライバ及びAnubisをドラッグして入れてください。																		
AnubisでPCの音を出したい		MergingのKnowledge Databaseで"WDM -ASIO configuration"を参照してください。 <a href="https://confluence.merging.com/pages/viewpage.action?pageId=45449312">https://confluence.merging.com/pages/viewpage.action?pageId=45449312</a> 警告：MergingのRAVENNA ASIOはマルチクライアントではないため、WDMブリッジで構成されている場合、DAWと同時に使用することはできません。Mergingでは解決策を調査しています。																		
一部のAnubisソースまたはモニターがアクティブにできない	最大チャンネル数を超過しています	おそらく利用可能なソースまたはモニターに使用されている合計チャンネル数が超過しています。使用中の他のソースまたはモニターを無効にするか、未使用のものを削除してから、ソースまたはモニターを再起動します。SourcesまたはMonitorsに使用できる最大チャンネル数については、こちらの表を参照してください。																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">ANUBIS SOURCES AND MONITORS MAX CHANNEL</th> </tr> <tr> <th></th> <th>Sources</th> <th>Monitors</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 Fs(44.1-48kHz)</td> <td>128</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>2 Fs(88.2-96kHz)</td> <td>128</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>4 Fs(176.4-192kHz)</td> <td>64</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>8 Fs(352.8-384kHz)</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>			ANUBIS SOURCES AND MONITORS MAX CHANNEL				Sources	Monitors	1 Fs(44.1-48kHz)	128	32	2 Fs(88.2-96kHz)	128	32	4 Fs(176.4-192kHz)	64	32	8 Fs(352.8-384kHz)	32	32
ANUBIS SOURCES AND MONITORS MAX CHANNEL																				
	Sources	Monitors																		
1 Fs(44.1-48kHz)	128	32																		
2 Fs(88.2-96kHz)	128	32																		
4 Fs(176.4-192kHz)	64	32																		
8 Fs(352.8-384kHz)	32	32																		
Bass Managementでハイのスロープが変えられない	機能制限	処理するチャンネルの数によっては、スロープを設定することはできません。28バンドはベースマネージメントに利用可能です。5.1設定で最大24 / dB /オクターブが可能です。																		
MacでAnubisファームウェアをアップデートできない	ブラウザの問題	Safariは現在のところAnubisではサポートされていません。ファームウェアの更新ボタンは表示されず、アップデート領域をクリックするとファームウェアのアップデートが遅くなる可能性があります。MacとPCのユーザーはChromeを使用することをお勧めします。																		



Merging RAVENNA ASIO パネルに “no ASIO Host connected” と表示される	DAWの設定を確認してください	DAWが起動していること、DAWでRAVENNA ASIO ドライバーを使用する設定になっていることを確認してください。 一部のMedia Playerソフトウェアでは、アプリケーションがASIOホスティングを実行するために再生を開始する必要があります。
Network Throttling error メッセージが表示される	Windowsの設定を確認してください	Windowsは、特定のプロセスでネットワーク帯域幅を自動的に減らすことができます。これはRAVENNAではサポートされていません。 この問題を修正するには、 <a href="#">こちら</a> を御覧ください。
PyramixのAnubis PreampsリモートコントロールはPyramixのすべてのバージョンでサポートされているわけではありません	バージョン依存	Pyramixミキサー内のAnubisリモートプリアンプ制御サポートは、Pyramix MassCore v11.1.6 HotfixおよびASIO v12 (64ビット) を実行するすべてのPyramix Native バージョンでサポートされています。  Boost、Link、Cutなどの一部のパラメータはサポートされていません。
ファームウェアアップデートに時間がかかり、Update ボタンが常には表示されない	Safari の問題	ファームウェアのアップデートにSafariを使用することは推奨されません。アップデート時に速度が低下することが知られており、Update ボタンが表示されない可能性があるためです。 Google Chromeを使用してファームウェアのアップデートを実行することをお勧めします。それでも問題が解決しない場合は、アップデートにChromeシークレットタブを使用してみてください。
モニターセット (DownMix、Ref / Dim、スピーカー選択など) でいくつかの機能を実行できません。	Anubis モニター タイプ	Anubisには3種類のモニターセットがあります 1) スピーカーセット 2) ヘッドホン 3) Cues 各モニタータイプには、それぞれ独自の特性と機能があります。正しいものを選択してください。詳細については、モニター ミッションのセクションおよび表を参照してください。
モニターセットごとに異なるソーストリムを設定することができない	Anubis Monitoring Mission はグローバル ソース トリム機能があります	アナビスモニタリングミッションでは、各ソースはトリムを持ち、すべてのモニターセットに適用されます。 この問題を回避するには、目的のモニターセットにルーティングされた2つ目のソースを作成し、これを特定のレベルに調整します。モニターセットごとの個別ソースの調整は、今後のミュージックミッションで予定されています。
リモートプリアンプ : Boost、Link、CutなどのいくつかのパラメータがProToolsからコントロールできない	Avidのリモートプリアンププロトコルではサポートされていません	-Boost : リモートMIDIプリアンプコントロールは、Anubis Boost Preampsオプションをサポートしません。それはパッドとして解釈されます。現時点では、このパラメータはAnubis Preampsで設定してください。  -Link と Cut : リモートMIDIプリアンプコントロールは、Anubis LinkもCut Preampsオプションもサポートしません。 ステレオ入力を使用して2つのAnubis入力を同時に制御するか、またはAnubis上でローカルにリンクを使用することができます。 このパラメータはAvid MIDIプリアンププロトコルではサポートされていないため、カットオプションはローカル



		で使用する必要があります。
Anemanで全部のMonitor setが表示されない	制限	選択したMonitor setのみが表示されます。
各Monitor setでSourceのレベルを変えられない	Monitor Mission ソフトのデザイン	Source Trim は全体のコントロールであり、各モニターセットに個別ではありません。  回避策：異なるモニターに独立したSource Trim レベルを使用したい場合は、Cueモニターを使用してください。  今後予定されているAnubis Music Missionにはこの制限はありません。
Pyramix を使用する場合、Monitoring Panel を使用できますか？	開発中	Pyramix Monitor PanelにはまだAnubisのサポートと統合がありませんが、特に再生監視にMedia Managerトリマーを使用する予定の場合は、Pyramix Monitorセクションを使用し続けることをお勧めします。そのような場合、ソースをPyramixモニタリングパネルに適切に接続し、このモニタリング目的にはパネルのみを使用するようにしてください。
Horus / Hapiのように、ドライバーまたはMassCoreからAnubis出力に直接接続して、Anubis Monitoringパネルをバイパスする方法	ルーティング	ANEMANを使用し、ASIO出力を物理Anubis出力に接続するだけで実現可能です。 Anubis Monitoring Engineの説明がある英文マニュアルのページ63を参照してください。図8のモニタリングエンジンのバイパスに示されているとおりに実行する必要があります。 <a href="https://www.merging.com/uploads/assets/Installers/Firmware/MERGING+ANUBIS%20User%20Manual.pdf#page=63">https://www.merging.com/uploads/assets/Installers/Firmware/MERGING+ANUBIS%20User%20Manual.pdf#page=63</a>
Logicを使用している場合、AnubisでSpeaker set セレクターを押すと、Logicで選択したチャンネルがミュートされる	コンフィグレーション	Logicのチャンネルストリップパラメーター（ソロ、ミュート、パン、ボリュームなど）は、特定のMIDI Control Changeメッセージに反応します。メッセージの一部はAnubisが送信しています。これらのメッセージの1つ（CC9）は、Logicで選択したトラック/チャンネルストリップをミュートします。これは、Logicの Project Settings > MIDI > General で、Control Change 7/10 controls Volume/Pan of channel strip objects のチェックを外して下さい。 この設定はボリュームとパンのみにこの様ですが、無効にすると、チャンネルストリップの残りのパラメーター（ソロ、ミュート、送信レベル）が着信CCに反応しなくなります。